

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名	男女共同参画推進懇話会運営事業				<input type="checkbox"/> フェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部	課長名	財津 公正
計画	施策	23	人権が尊重される社会づくり		所属課	総務課	担当者名	末永大樹 猿渡祥子
体系	施策の柱	78	男女共同参画推進活動の実践		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 15	事業連番 10913	根拠法令	男女共同参画社会基本法、合志市男女共同参画まちづくり条例	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
成果優先度評価結果		⑧						
コスト削減優先度評価結果		⑥						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発資料、啓発講座の検討、男女共同参画推進及び苦情処理・相談の協議等を行う ・男女共同参画推進懇話会は、旧町時代にも設置されており、それを踏まえ平成18年6月1日に合志市男女共同参画推進懇話会として設置された。 ・合志市男女共同参画推進懇話会要綱から合志市男女共同参画まちづくり条例(H19.11.1施行)に根拠法令が移行した。 ・平成26年6月から第5期懇話会での活動を実施している。(17名)任期は2年(平成28年5月31日まで)
【業務の流れ】	文書送付、②会議実施、③議題に沿って協議(啓発講座・資料の検討等)、④閉会、⑤報酬・費用弁償の支払い、⑥ホームページに会議録を公表
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)
【意見や要望】	懇話会委員より会議が啓発講座や啓発誌「いっぽ」の検討等、啓発に関する事項が多いので、出前講座等、各地域についての男女共同参画の活動を推進したい。との意見があった。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
合志市男女共同参画気づきうなずきフェスティバルの主催、啓発資料「いっぽ」の内容検討、男女共同参画の課題協議などを行った。会議を年間7回開催した。市民に対する啓発に努めた。	前年度と同様。委員改選の年
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 会議数	→ イ: 報酬、費用弁償の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
男女共同参画推進懇話会	→ ア: 団体数 (単位) 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
目的に沿って運営できる。	→ ア: 目的に沿って開催できなかった会議の割合 (単位) 件
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
懇話会が目的に沿って運営できることがこの事業の意図であるため、目的に沿って開催できなかった会議の件数を成果指標に設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア	回	7	7	8	8	7	7	7	7	
② 対象指標	ア	団体	11	11	11	0	11	11	11	11	
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	449	525	709	514	621	621	621	621
		(A) 事業費計	千円	449	525	709	514	621	621	621	621
		(A)のうち指定経費	千円	282	307	445	323	390	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	4	4	3	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	334	327	400	340	400	400	0	0		
(B) 人件費計	千円	1,330	1,302	1,593	1,262	1,593	1,593	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,779	1,827	2,302	1,776	2,214	2,214	621	621		

事務事業名	男女共同参画推進懇話会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 男女共同参画の本質的な部分の協議する機会を設け、市民の視点による男女共同参画のまちづくりを推進することで目標が達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 懇話会委員が研修会に参加し、男女共同参画についての知識を更に得ることで、委員の認識、行動力等を向上させることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似団体はないので、他に手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 委員の数、会議回数を減らす。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 懇話会委員の人数、会議回数を減らせば、その分の事業費が減る。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 懇話会委員の一部は、一般公募により募集しており、公平・公正である。また、懇話会で検討した内容は、合志市主催のイベントや合志市発行の啓発資料に反映されるので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 合志市男女共同参画まちづくり条例で市民の視点で男女共同参画まちづくりを推進するために懇話会を設置することになっているので適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

懇話会の会議を7回開催し、懇話会委員としてフェスティバルへの協力をしていただいた。会議がイベントや啓発資料の内容検討が主だったので、男女共同参画の本質的な問題を協議する場がなかったので、今後、その点を取り上げていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						